

# 世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

## 1. 資産名称

ひらいずみ ぶつ こくど じょうど あらわ けんちく ていえん およ こうこがくてき いせきぐん  
平泉 一仏国土 (浄土) を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群

## 2. 所在地 (県及び市町村名)

いわてけん にしいわいぐん ひらいずみちょう  
岩手県 西磐井郡 平泉町

## 3. 記載年

2011年

## 4. 評価基準

(ii)、(vi)

## 5. 資産の適用種別 (記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

記念工作物、遺跡  
文化的景観の適用 無

## 6. 資産に影響を与える要因

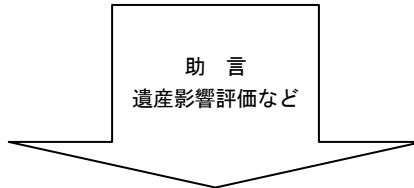
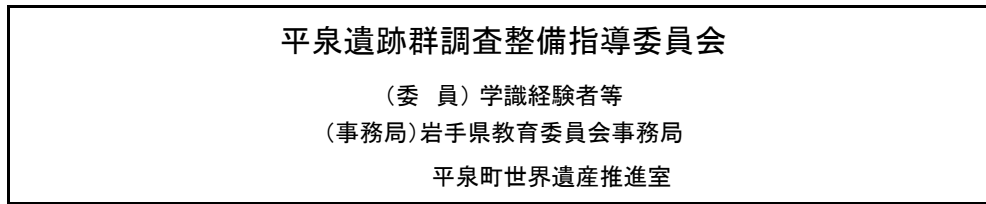
- (1) 資産内及び資産周辺に所在する住宅等は、景観等に負の影響を与えている。そのため、資産内においては住宅を除去（公有化）する予定である。
- (2) 無量光院跡において、道路改良事業に伴う地下埋設物の設置が計画されている。事業者である岩手県県土整備部関係機関と協議し、地下遺構を損傷しない工法について協議中である。一方で、電柱等が除去されることから、周辺景観の改善が期待される。
- (3) 資産のすぐ東を流れる北上川において、河川氾濫抑制のための築堤が実施されている。この堤防は資産内からほぼ視認できず、しかも景観に配慮した設計となっていることから、資産の保護に好影響を与えている。
- (4) 毛越寺境内においては、樹木の状態調査を順次実施し、樹木管理を行うとともに、遣水については、将来的な再修復に向けての予備調査及び保存修理を実施している。  
また、境内全体の保存修理に向けた長期的修復計画立案に向けた検討を進めている。
- (5) 風力発電事業等の計画に対応するため、緩衝地帯の範囲拡大について岩手県世界遺産保存活用推進協議会の関係者間で協議を継続している。
- (6) 平泉町祇園地内(緩衝地帯)の高速道路のスマートインターチェンジ建設については、資産に対する影響を軽減するように事業者等と協議を継続している。
- (7) 世界遺産条約履行のための作業指針 172 項に基づく、中尊寺大池跡及び無量光院跡の発掘調査及び修復計画書をユネスコ世界遺産センターに提出した。
- (8) 中尊寺境内で建物の建替の計画があり、除却は終了した。考古学的情報の保護及び景観に配慮した建替えを行うための検討を進めている。

## 7. 保存管理体制の状況

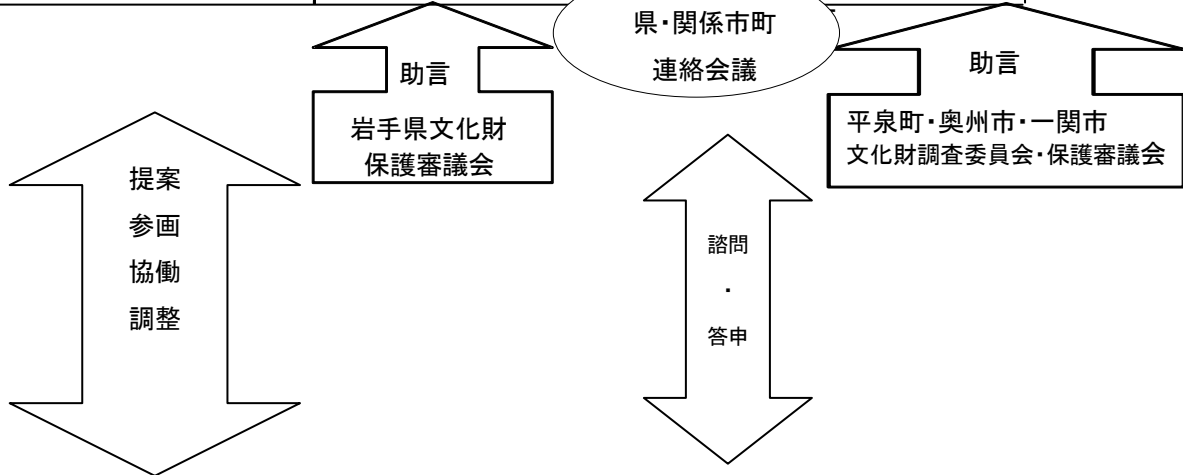
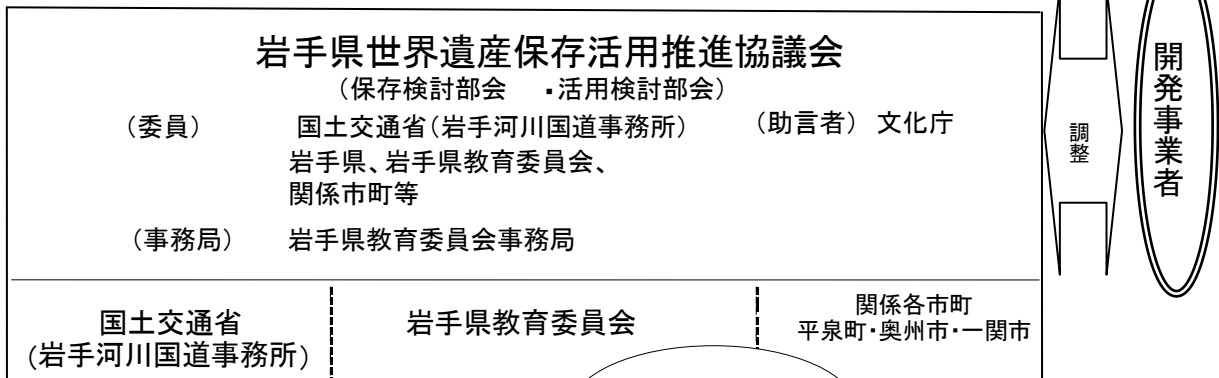
- (1) 都道府県及び市町村における担当部局の設置
  - ・岩手県 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
  - ・平泉町 平泉町教育委員会世界遺産推進室
  - ・奥州市 奥州市教育委員会事務局歴史遺産課世界遺産登録推進室
- (2) 専門家／有識者による委員会の設置
  - ・平泉遺跡群調査整備指導委員会
- (3) 包括的な保存管理体制
  - ・岩手県世界遺産保存活用推進協議会

【保存管理体制図】

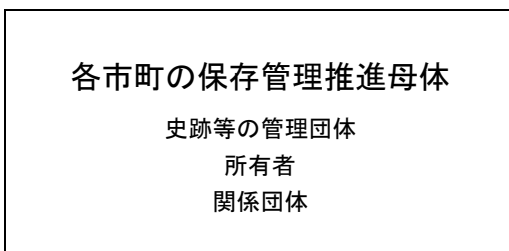
【助言機関】



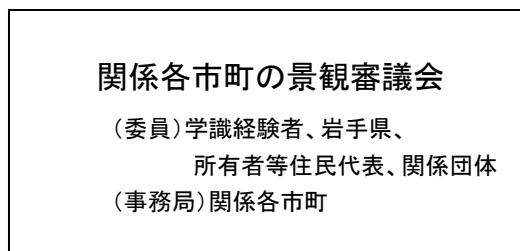
【調整機関】



【企画立案機関】



【連携機関】



## 8. 保護措置

- (1) 平成27年3月に世界遺産委員会で決議された来訪者管理計画を策定し、今年度意識調査を実施した。

## 9. 予算措置

年度	岩手県	平泉町	計(千円)
平成28年度	112,825	150,305	263,130
平成27年度	156,864	128,440	285,304
平成26年度	108,857	59,038	167,895
平成25年度	140,780	140,542	281,322
平成24年度	155,954	105,603	261,557

## 10. 来訪者の状況

年	来訪者数(人)
平成28年	925,227
平成27年	916,662
平成26年	1,021,165
平成25年	1,236,415
平成24年	1,704,063

## 11. その他

- (1) 平成29年3月30日に岩手県世界遺産保存活用推進協議会を開催予定。